

おひさま サカタ

2012



vol.114

7

はいっポーズ!

《置戸地区・豊住》

奥山由香さんと快知くん・仁胡ちゃん

(紹介は2ページです)

特集

- 小学生が田植え体験
- 新規就農者激励状授与式と
交流研修会を開く



季節の薫り



1 番牧草収穫

6月下旬、1週間ほどの晴天が続き、気温も一気に上昇し、30℃を超え「夏到来」を感じる季節となった。

この時期、酪農家にとって重要なのが「一番牧草の収穫」だ。適期収穫された一番牧草は栄養価が高く、軟らかく育った草は牛も好んで食べる。

この一番草の出来、不出来により、牛が餌を食べる量に変化をもたらすと、1年間の乳量に大きな影響を与えるため、酪農家は毎日の天気予報をチェックする。

広い採草地では、モアで刈り取られた一番草を自走式ハーベスターで収穫し、並行して走るトラックに積み込まれていく様子は、両運転手が声を掛け合っているかのように見事なコンビネーションで作業が淡々と進められている。



【写真は6月27日、北見地区・豊地の大森泰正さんの採草地で撮影。大森さんの採草地は25%。大森さんも構成員の一員でもある「合同会社クロップ」が所有する大型ハーベスターで収穫と裁断し、バンガーサイロに運搬。良好な発酵を促すため、タイヤショベルでいねいに鎮圧した後、シートで被って密封します】

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「うなぎちらしずし」 「豆腐とトマトのサラダ」	22
○JAからのお知らせ	18
○青年女性ネットワーク	16
○ほのぼのの広場 ・きたみらいのホープさん ・思い出の写真 ・マイティスト 「押し花」 ・私のパートナー ・わが家のアイドル ・大きくなったら ・おらがまちのおしどり夫婦 ・まちがいきがし ・読者の声	12
○JAきたみらい ホットライン東西南北	8
○表紙紹介 「2人とも元気に」	2
○季節の薫り	2
特集① 子供たちの歓声で大賑わい!! 小学生が 泥んこまみれで田植え体験	4
特集② 新規就農者激励状授与式と 交流研修会を開く	6

表紙紹介

2人とも元気に

つい最近まで小さかった畑の農作物が青々と育ち始めた6月14日、奥山さん宅に到着すると、ちょうど外出先から帰ってきたお母さんと快知くんが一緒に家中へ案内してくれました。

当日は、周りにいつもより人がたくさんいて嬉しそうな様子の快知くん。人見知りもせず、アンパンマンの絵本を持ってきてキャラクターの説明をしてくれたり、車のおもちゃで遊んでくれました。

昨年7月より置戸町どんぐり保育園に通い、6月16日に行われた運動会には家族全員で応援に行きました。

昨年の11月には妹の仁胡ちゃんが生まれ、お兄ちゃんになりました。仁胡ちゃんはお昼寝中でしたが、大勢の目に覚まし、キョロキョロと周りを見つめながら、時折見せてくれる笑顔が可愛らしい仁胡ちゃん。そんな仁胡ちゃんが泣きそうになった時、快知くんは「にこちゃん、よしよし」と頭をなでてあげる場面もあり、お兄ちゃんぶりを発揮していました。

お父さんとお母さんは、仲の良い二人の子供を見ながら、「2人とも元気に育ってほしい」と話してくれました。



【ご家族紹介】
前列左から～おじいちゃんのお忠さん(60)、長男の快知くん(2)、ひいおばあちゃんのおたいさん(85)。
後列左から～お母さんの由香さん(35)、お父さんの拓博さん(34)、長女の仁胡ちゃん(7ヶ月)、おばあちゃんのお洋子さん(59)。
奥山さんは秋小麦、甜菜、玉葱、食用芋、スイートコーンなどを作付けしています

6/5

北見市立 (5年生63人)
南小学校



▲稲の苗をもってハイ！ポーズ



▲普及センター李家主査から苗の植え方を学ぶ児童



▲メジャーを目印に1本1本ていねいに植える児童



▲先生!!
足が抜けません

◀植え方を説明する森谷祐樹青年部相内支部長

6/7

北見市立 (5年生25人)
東相内小学校



◀笑顔で楽しそうに植える児童たち

▼終了後、新しくなった看板をバックに記念の一枚

小西 星伶奈さん

はじめて田んぼに入った時はヌメツとしていて気持ち悪かったです。ゴロは意外と重くて引くのが大変でした。今回の体験で田植えはあそこ大変なんだなあと思いました。



土屋 光くん

はじめて水田に入った時は背筋がゾツとしました。やっていくうちに段々ツツをつかんできれいに出てきました。お手伝いしてくれた方々のおかげで体験できて嬉しいです。



子供たちの歓声で大賑わい!! 特集

～小学生が泥んこまみれで田植え体験～



J Aきたみらいは、総合学習の一環として行われている各小学校の田植え、稲刈り、玉葱の定植や白花豆の播種などの農業体験学習を、生産者や関係機関と連携を図りながら取り組んでいます。これは次代を担う子供たちに食料を生産する農業の大切さと、農作業の大変さ、さらに作物を育て収穫する喜びを感じてもらうために行っているものです。今年も5月から6月にかけて多くの小学校で実施されますが、田植えを行った3つの小学校について写真で紹介いたします。

5/29

北見市立 (全学年96人)
相内小学校



▼慎重に足を運びながら田植を行う児童たち



▲看板横のたんぼで全児童による田植え



倉富 渉平くん (6年生)

田植えは少し大変だったけど、自然と触れ合う機会があるというのは、とてもいいことだと思います。秋にはおいしいお米がたくさん実っているとうれしいです。



加藤 美沙さん

私は6年生なので最後の田植えとなりました。田植えはやりがいがあるし、楽しいし、何よみみんなが出来たからうれしかったです。秋にはたくさんのお米が実ってほしいです。



▲転んでも「苗は大丈夫！」

新規就農者に 激励状を授与

〜きたみらい管内に27人が就農〜

第一次産業の農業を「自分の職場」として、高校・大学などを卒業して就農された方、あるいは他産業に従事し、第二の職場としてUターンされた方、いずれも農業への情熱は同じです。この様な中、毎年、JAグループ北海道五連から農業に意欲を持って取り組む青年に激励状が届けられています。激励状授与式と北見地区新規就農者交流研修会が6月29日に行われましたので紹介します。

一人ひとりの「がんばるこころ」と声を

北海道の農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲を持って取



▲激励状を受け取る中山弘直さん（相内地区）

り組む青年に毎年、JAグループ北海道五連（中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連）会長連名の激励状と記念品を贈呈しています。本年度は、全道のJAで約490名の青年に授与されました。当JAでは新規学卒者11人、Uターン16人計27人に授与され、その就農率は全道119JAでも高い水準にあります。激励状授与式は、6月29日、北見モイワスポーツワールドで行われ、23人が出席しました。西川組合長は、JAグループ北海道五連の使命と事業内容を説明した後、「農業は、健全な国土環境と国民の健康を守る大きな社会的使命を担っていることに自負心を持つ」と呼び掛けました。



▲授与式に出席した23人の就農者とJAきたみらいの役職員

また、「おいしいねー』『安全だね』『こんな農産物が食べられた！』と国民の皆さんに言われるような農業者を目指して努力邁進してほしい」と激励の言葉を贈りました。その後、西川組合長から一人ひとりに「頑張ってください」と声を掛けて激励状を手渡すと、就農者の皆さんは「頑張ります」と心えながら受け取っていました。3月に本別農業大学校を卒業した

農を支える 未来がある とメッセージ

新規就農者交流研修会に82人

HTB 佐藤アナウンサー

北見地区新規就農者交流研修会が6月29日、北見市相内のモイワスポーツワールドで開かれ、82人が参加しました。

1市2町やJAきたみらいなどで構成している北見地区農業振興連絡協議会の主催で、農業の知識研鑽と情報交換などを図ることを目的に行われています。

講師は北海道テレビ放送の佐藤麻美アナウンサーで「明日の『食』を担うみなさんへのメッセージ」と題して講演しました。佐藤さんは、HTBが2003年からスタートした「おにぎりあたためますか」に出演し、日本全国を旅しながらその土地の名産や名店を紹介しております。

また、野菜ソムリエやベジフルビューティーセルフアドバイザーなど食に関する資格を取得し、幅広く活動しております。佐藤さんは「若い青年が大勢いて、テンションが上がっている」と笑い

を誘って会場の雰囲気や和らげ、野菜の役割について話しました。旬の野菜は「栄養が豊富」「新鮮でおいしい」「安い」など3つをあげ、美味しさの3要素は「五感で感じる物」「心理や脳」「環境」と説明。さらにHTBがタマネギの皮を使った紙を作り、パンフレットなどに使用し、北海道産タマネギを有効的な活用する予定であることも話されました。

また「農家の皆さんが、農産物を愛情込めて生産するライフスタイルに共感して消費者は食べたいと思う」と呼び掛けました。さらに「若い皆さんは可能性がいっぱいあり、北海道農業を支える将来があります。みなさんの応援隊の一人として、札幌からも応援したい」とエールを贈っていました。北見市美里で水稲や小麦、豆類な



▲佐藤麻美さんを参加者全員で囲んで、はいっポーズ！

どを作付する実家に2009年の春から就農した安齊大夢さん（23）は「消費者の共感に responding するために、おいしい農産物を生産したい」と話していました。

身振り手振りで熱心に話す佐藤麻美さん▶



▲佐藤麻美さんの話を聞いている就農者のみなさん

大きくなってね！と みんなで放流

～児童9名で
蛭の幼虫を放流～



▲蛭の幼虫を池へ放流する児童

温根湯地区滝湯公園の池で6月18日、温根湯小学校2年生の9名の児童が参加して、蛭の幼虫の放流を行いました。

今回の蛭幼虫の放流は温根湯地区農地・水・環境保全向上対策事業の一つで、生態系保全と在来生物の育成を目的に行われました。今回放流されたのは「ハイケボタル」の幼虫500匹。1〜3cm程度

の大きさの幼虫十数匹が入った紙コップを持った児童は、蛭の幼虫を珍しそうに覗き込み、「大きくなってね！」と声を掛けながら、池に放流しました。

この日放流された幼虫は2〜3週間後には飛び立ちますが、今年もきれいな輝きと共に蛭が元よく飛び交う姿が期待されています。

豊穣の秋を 期待して

～豊作祈願祭に
50名が参加～



▲参拝する飯田会長と参列者みなさん

西相内町内連合会(飯田秀明会長)は6月15日、同地区の多目的施設前で豊作祈願祭を行いました。この地域で行われている豊作祈願祭は、昭和56年7月21日に降雹があったことをきっかけに、毎年同日に開催されるようになりました。当日は地域の生産者や関係機関な

どから約50名が集まり、豊穣の秋を期待して祝詞を上げ、参加者全員が参拝しました。祈願祭終了後は、恒例の焼肉を囲みながら、農作業事故への注意や今年の作物の生育、干ばつでなかなか降ってこない雨を祈願しながら、懇親を深めました。



▼小麦品種試験の説明を受ける参加者



道内視察研修を 合同で実施

～畑作4部会で
道内5ヶ所を研修～

上常呂地区の畑作関係の生産者組織合同で6月19日と20日の2日間、道内の先進地視察研修を行い、生産者14名が参加しました。

合同で研修したのは同地区の麦作振興会(西野繁会長)、馬鈴薯振興会(長山正吉会長)、種手耕作組合(吉村静一組合長)、甜菜振興会(沢田正直会長)の4部会。初日は朝5時に上常呂を出発。午

前中は横浜植物防疫札幌支所と北海道農業研究センター芽室研究拠点と東洋農機を研修しました。翌日は帯広方面に向かい、北海道参加した部員は、新しい機械や農業の情報など、それぞれの研修先で真剣に耳を傾けていました。

▼11種目の競技を楽しむ両支部の部員のみなさん



支部間交流で 母ちゃんパワー全開

～運動会に
部員16名が参加～

女性部置戸支部(中澤ひさ子支部長)は6月8日、訓子府支部との支部間交流を訓子府町スポーツセンターで行い、部員16名が参加しました。訓子府支部が昭和52年から続けている伝統行事の「JA女性部運動会」に参加し、11種目の競技に赤と白の2チームに分かれ母ちゃんパワーを発揮しました。

イスにのせた風船を割る「あなたケツ庄は」では、一斉にあちらこちらで「パーン」と風船が割れる音が響き、会場から大歓声が湧き上がっていました。終了後は焼肉を囲み、運動会のプシューや農作業の話などで盛り上がり参加者全員で交流を深めました。

とれたての野菜 開始20分で完売

～くるるん・きたみへ
朝市出店～



▲大盛況のかあさんの朝市ブース

北見市が主催する2012年環境フェア「くるるん・きたみ」が6月23日、北見芸術文化ホール前で開かれ、大勢の市民でにぎわいました。今年で15回目を迎えた同イベントに、北見市かあさんの朝市会も出店。会員9名のうち4名が参加。豆類、ホウレン草、ジャガイモ、キュウリ、花などの農産物を販売しました。

肌寒い天候の中での出店でしたが、朝市会のブースには次々にお客さんが訪れ、開始から20分ほどで完売しました。

会員の橋本カツ子さんは、「こんなに多くのお客さんが会場に訪れたのは、初めてです」と笑顔で話しながら、消費者とコミュニケーションを深めています。

圃場観察で 適期防除を

～青空教室に
106名が参加～



▲青空教室に集まった生産者のみなさん

端野町玉葱振興会(土屋和徳会長)は6月5日に玉葱青空教室を3地区に分けて行い、晴天のもと94戸・延べ106名が参加しました。

例年、年3回実施しているうちの1回目に当たる今回は、講師に網走農業改良普及センター田中理恵専門普及指導員とJAきたみらい技術開発グループの庄子マネージャーを講師に現在の玉葱生育状況における問題点、防除技術指導についての説明を受けました。

青空教室開催現在で、平年に比べて2日程早く推移している生育状況ですが、圃場観察しながらの適期防除がこれからの生育を大きく左右することを確認し、参加した生産者は熱心に講師の話聞いていました。

同会では、今回の第1回の教室を皮切りに、次回以降7月上旬と8月上旬に開催する予定です。



留辺薬小学校の3年生25名は5月31日、食育事業の一環として学校の菜園に白花豆の種まきを行いました。種まきの前段、網走農業改良普及センターの吉川普及員と佐竹普及員から白花豆の栽培方法を説明していただき、校庭の菜園に行きました。

菜園では2列に畝を切り、児童全員で、畝に沿って肥料を撒き、白花豆の種子を1ヶ所に3粒ずつ落とし、土をかぶせました。

児童から「雑草が生えたらどうやって抜くの」と質問があり、「雑草を抜くときは豆を抜かないように注意しましょう」と吉川普及員はアドバイスしていました。

参加した児童たちは、秋にはたくさんのお花が実ることを楽しみにしながら、豆まきの作業を終りました。

▼白花豆の種をじっと見つめる児童



白い実 たくさん付けて！

～留辺薬小3年生
白花豆の種まき～

▼110人が参加して行われたソフトボール大会



ソフトボールで 相互交流

～子どもの声援を受け
青年部とフレミズの交流～

JAきたみらい青年部訓子府支部(大畑圭吾支部長)とフレッシュコムズ訓子府支部(中西智子支部長)は6月13日、「第42回地区対抗ソフトボール大会」を訓子府町レクリエーション公園で開催しました。

大会には約110人が参加、8チームに分かれ、優勝を目指して熱い戦いを繰り広げました。

南地区Aチームの前田明徳さんは「農作業で培った体力と精神力で楽しくプレーします」と力強く選手宣誓を行った後試合がスタート。

ベンチ横の応援席からは、フレッシュコムズ会員に抱かれた子どもから「お父さんガンバレ!」と声援が飛び交っていました。

結果は西地区Aチームが優勝、終了後の焼肉懇親会では農作業の話や子育ての話などで盛り上がりました。

私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は、弘人さんが札幌市内で塾の講師をしている頃、就農を決意し「いっしょに来てほしい」とプロポーズ。その言葉に「はい」と即答した英美子さん。爽やかさを感じさせてくれるご夫婦を紹介します。

遠距離を乗り越えて

訓子府地区・福野
 谷 弘人さん(31歳)
 英美子さん(31歳)

- Q 結婚されたのはいつですか？
平成19年の5月です。
- Q 知り合ったキッカケは？
岩手の大学生時代、友人の紹介で知り合いました。
- Q 初めて会った時の印象は？
弘人さん「落ち着いて可愛い人だなあ〜」
英美子さん「明るい人だなあ〜」
- Q 結婚を決意した大きなポイントは？
在学中、さらに大学卒業後、岩手と札幌の遠距離恋愛が3年間続いた中で、お二人が「この人と将来共に生活したい」という意識が高まったことです。
- Q 英美子さんの出身地は？
岩手県出身で、地元の病院で看護師をしていました。
- Q 子ども何人？
2人位かな？2人目の子を妊娠中で11月に誕生予定です。
- Q どんな家庭を築きたいですか？
平凡でもいいので、家族が健康で楽しい毎日を送りたいですね。
- Q 今後の目標、あるいは夢を？
チャンスがあれば規模拡大も考えていますが、今は現状維持と思っています。各作物とも所得率のアップを図ることが目標。夢は、今の時期に、家族揃って沖縄旅行を楽しみたいです。
弘人さんの膝にお座りしているのは、長男の快晟くん(1歳7ヶ月)です。

思い出の写真

秋の畑おこし作業



【写真説明】
畑の中を購入間もない耕うん機を駆使して耕起作業中の合田さん。背景には今あまり見られない、稲架掛け(はさがけ)の風景が広がっています。

上常呂地区・常川
 合田 宏さん(80歳)



この写真は昭和35年ごろ、購入したばかりの耕うん機で、人参の畑を耕起している様子を、親類の人が記念に撮影してくれたものです。
 当時はうるち米を主体として、人参や玉葱を5反ほど作付けし、牛も5頭ほど飼養していました。
 畑作業や運搬については、まだ馬を使った作業が主だった頃で、耕うん機を購入したときは、形もかっこ良く気に入って導入したのですが、使ってみると「これは便利だ」と実感したそうです。
 写真を撮影したのは10月頃で、背景には乾燥のために積まれた稲が写っています、この後、馬で倉庫まで運び、共同で脱穀やもみすり作業をして11月末頃に出荷していました。
 「当時は寒くなってもいろんな作業があって大変だった」と合田さんは話してくれました。
 この耕うん機を購入後、数年後にはトラクターを導入しましたが、耕うん機と比較して、作業も早く楽になり、耕起や砕土もきれいにできることから、耕うん機の使用期間はあまり長くはなかったそうです。

マイテイスト 押し花

北町さんは、5年ほど前から、相内地区手芸同好会「スイートビー」の活動に参加し、5月から12月まで月1回のペースで「押し花」を楽しんでいます。
 友達に誘われて始めたのがきっかけで、はじめは、箸袋から色紙台で腕を磨き、大きいサイズになると4〜5時間位で仕上げる事ができるようになり、今までで大小合わせて30点ほどの作品を作成してきました。
 手芸同好会では、毎年5月から6月にコミュニティプラザ「パラポ」を借り作品展示会も行っています。北町さんも自信作を出品し「花そのものの色をもう一度生かした美しい押し花を是非見ていただきたい」と話してくれました。
 押し花の材料は、自宅で5月から大事に育てた花を使っています。
 今後は、「もう少し大きい8号サイズでチャレンジしたい」と笑顔で話してくれました。



相内地区・西相内
 北町 弘子さん(68歳)



▲自宅で育てられた、テッセン、アネモネ、ガーベラなどを使った作品

ほのぼのの広場



きたみらいの
 ホープさん

親父を超えるように

端野地区・緋牛内
 斉藤 正廣さん(30歳)

正廣さんは、秋まき小麦・甜菜・馬鈴薯などを栽培する秀気さん・優子さん夫妻の次男で就農して3年目です。

- 趣味は？
インターネット、服を買う事
- 好きな食べ物、嫌いな食べ物は？
好きな物…メロン
嫌いな物…紅しょうが、夏場に焼肉が続くのはちょっと苦手
- 理想の女性は？
元気で頑張っている人、おしゃれでセンスのいい人。芸能人で言えばベッキーです。
- 結婚はいつ頃までに？
35歳くらいまでには、いい出会いがあればと思っています。
- 休日はどんな事をしていますか？
北見市内の友達とドライブに行くことが多いです。
- 農業に対する抱負は？
今年、経営移譲をする予定ですが、親がやってないことにも積極的にトライして、いつかは親父を超えるようになりたいです。

8月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部留辺薬支部の？さんを予定しています。広報編集委員が突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

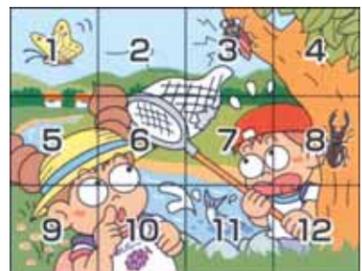
まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



6月号クイズの当選者

6月号のまちがいさがしの答えは「1. 3. 6. 10. 12」でした。正解者41名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの坂下専務にお願いしました。

()内は地区名

- ・岩橋 椎奈さん(温根湯)・須河 亜美さん(訓子府)
- ・森谷 美空さん(置戸町)・本田 豊身さん(相内)
- ・山本 航平さん(訓子府)・公平 慎一さん(北見)
- ・森下 恵子さん(訓子府)・大武 恭子さん(北見)
- ・林 茂子さん(訓子府)・松崎 彩乃さん(端野)

以上の方々には、このほど新発売されたJAきたみらいの「キーマカレー」3個をプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、エコープ店(ホクレン商事)の「商品券」(500円)を2枚をプレゼントします。

い らない時に雨、ほしい時には雨ふらず、1日も早く雨が降ってほしいです、夢の中でも雨・雨・雨です。早く雨降って下さい。

(北見地区・のびたちさん)

農業はお天気とも共存しなければいけない仕事です。お天気のご機嫌よろしく適度の雨で、たくさんの実りがありますようねがたいです。

す 年もそろそろ草刈をする時期になりましたね、農家の皆さんは石とかでケガをしないように気をつけて、これからも草刈り頑張りましょう。

(訓子府地区・山本航平さん)

暑い中での作業にはいつも頭が下がる思いです、農繁期を迎えくれぐれもケガのないよう気をつけてください。

く リーンカーテンにしよう、ゴーヤを育てています。リッパカーテンになるようにお天道さま、おねがい!!

(留辺蘂地区・高井直子さん)

ゴーヤですか、私自身は直接見た事がなく非常に興味があります(@_@)、元気に育ったら見に行きたいです。

こ 学校の運動会で徒競走1位にニッコリ、自治会の運動会も頑張るゾーオ。親子で「晴れるといいな〜ア」

(端野地区・今村さん)

6月の運動会シーズン、多くの方が子供やお孫さんの運動会を楽しんでいた事でしょう。運動会をおかずに家族の話題も増えて楽しい時期ですね。

読者の声



大きくなったら



温根湯地区・平里
水野 舜也くん (7才)
叶望ちゃん (4才)

お父さんと農業

ほくは大きくなったら、農家になりたいです。農家になれば、お父さんの手伝いができるからです。そして、大きな車が好きなので、トラクターに乗って防除したり、ダンプやリフトに乗りたいです。今好きなことは、ゲームと算数の勉強です。

看護師さんに

私は看護師さんになりたいです。看護師さんはかっこいいと思うからです。好きなことはぬりえをすることです。

水野倫明さん、和美さん夫妻の2人兄妹です。好きなことは?と訪ねると二人そろってゲームが好きと元気に答えてくれました。

ほのぼのの広場



わが家のアイドル

北見地区・美里
佐藤 花恵(はなえ)ちゃん(3歳4ヶ月)
悟(けいこ)くん(3歳4ヶ月)
里 桜(りお)ちゃん(4ヶ月)

バナナ大好き!

花恵ちゃんと圭悟くんは双子の姉弟です。「双子といっても性格は全然違います」と話してお母さん。

花恵ちゃんは慎重でお絵かきが好き、圭悟くんはやんちゃで車のおもちゃが好き、でも「好きなものは!」とたずねると、二人は声を揃えて「バナナ!」と答えてくれました。

今年の2月に、妹の里桜ちゃんが生まれ、お姉ちゃんとお兄ちゃんになり、小さいながらも、里桜ちゃんの事を気にかけてくれます。お父さんとお母さんは、「健康第一で、他人に対して思いやりを持てるような子に育ててほしい」と話してくれました。

北見地区・美里の佐藤正人さん、亜希子さんの夫妻のお子さん達です。

おらがまちの



健一郎さん

一緒に旅行へ

おしどり夫婦



置戸地区・勝山

大槻 健一郎さん(72歳)
美 恵さん(72歳)

健一郎さんは昭和15年に大槻家の長男として生まれ、高校の定時制に通うのと同じ時に農業に従事しました。当時は約10畝の畑と水田を作っていました。高田を卒業後は山仕事に行ったり、町の貸付制度を利用して乳牛1頭を導入し、休む暇なく働いていました。現在は、新生紀森林組合の組合長を務め、平日は休みはありませんが、若い頃はテレビの野球観戦を楽しみにしています。

美恵さんは健一郎さんと同じ勝山地区に生まれ、育苗を育てるの苗圃の仕事をしていました。昭和37年に結婚してからは、一緒に農業に従事、4人の子供に恵まれました。健一郎さんが山仕事に行っている時には、共同で借りていた採草地に牧草を取りに行ったりしましたが、免許取り立ての頃は、グネ草を乗せたトラックを運転するのは大変だったそうです。現在は夏には庭いじりや家庭菜園、冬にはパッチワークなどをして楽しんでいきます。

青年部

道行く人に花を楽しんで



～アピール看板圃場にひまわり播種～

J Aきたみらい青年部（佐藤正人部長）は6月14日、役員他11名で北見市相内美園にある青年部のアピール看板の圃場まわりの草刈りと、緑肥用のひまわりを播種しました。このアピール看板は平成16年に青

年部が農畜産物の安心・安全を一般消費者へアピールする目的で設置されたもので、ひまわりを播くのは今年で8回目となります。

昨年の秋にすぎ込んでから約半年圃場には全面に雑草が生い茂っていました。事前の処理として除草剤で枯らし、機械を使用して、雑草をすき込み・土を砕土して播種の下地を準備しました。

下地が整ったところで、役員の手で肥料を散布し播きむらのないようにていねいにひまわりの種子を播種していました。

部長の佐藤さんは「今年も先輩達から引き継いだ伝統を守り、播種作業も予定通り終えることができました。きれいな花が咲くように心を込めて作業しましたので、今年のひまわりも元氣よく咲いてくれることと思います。また、ここは国道の脇にあるので多くの人に花を楽しんでもらいたいです」と笑顔で話してくれました。



▲ひまわりの播種作業に汗を流した本部役員のみなさん

女性部

J A道女性協議会との意見交換を実施

～本部研修に役員11名が参加～

J Aきたみらい女性部（斉藤のり子部長）は6月5日・6日の2日間役員視察研修を行い、役員11名が参加しました。

初日は小樽にある、かまぼこ製造会社「かま栄」の本社工場を見学し、担当者より会社の概要や製品製造過程の説明を受けました。

2日目は、J A北海道中央会を訪れ、J A北海道女性協議会との意見交換を実施しました。

道女性協からは岩永会長（J Aふらの）、馬淵副会長（J Aくろ）、笠松副会長（J A新はこだて）、栗野副会長（J A幌延）が参加し、J A北海道中央会からは工藤課長他2名の職員に対応していただきました。

意見交換については当J A女性部の部員数の減少や地域ごとの課題、J Aの女性理事登用にも話が及び活発な意見交換が行われました。

意見交換の最後に岩永会長から、「女性部活動については現在さまざまな問題・課題があるが、まずはそれぞれの夫婦や家族の中で話し合い、



▲意見交換会で挨拶する斉藤部長と役員のみなさん

理解があった中で、小さな事からでも一歩ずつ前に進んでほしい」と話され、有意義な研修を終えました。

フレミズ

食品の意外な利用方法に驚き

～2日間で交流深める～

J Aきたみらいフレッシュユミズ（菅野あけみ会長）は6月25日と26日の2日間、役員視察研修を行い、10名が参加しました。

研修初日は砂川市で入浴剤やボディソープ、石鹸などの化粧品を作っているローレルを視察、到着してすぐに、工場の外に溢れる香料の強い香りに驚きました。

入浴剤の製造ラインを見学し、商品の原料に酒かすや、がごめ昆布などの食品を使い始めているという話に感嘆の声を上げていました。



▲視察研修に参加した役員のみなさん

その後ハッカや米ぬか等、それぞれ自分好みの素材で入浴剤を作り、お土産として持ち帰りました。

次は札幌市へ移動し、アサヒビール北海道工場を見学、製麦行程やろ過・発酵・成熟が行われる大きなタンクなど普段なかなか見ることのない工場の裏側に、役員の皆さんはすっかり見入っていました。

翌日はHBC北海道放送を見学し、自由行動の後帰路につきましました。緊張のため言葉少なに始まった視察研修ですが、同じ時間を過ごすことで交流が深まり、帰りのバス内ではすっかり打ち解けていました。



▲ローレルで入浴剤を作成中

女性部とフレッシュユミズ

J A常勤役員と意見交換

～日常の疑問と不安を解消～

J Aきたみらい女性部（斉藤のり子部長）とフレッシュユミズ（菅野あけみ会長）は6月27日、センター事務所で常勤役員との意見交換会を行いました。

J Aの事業方針や女性組織への理解などを深めていく同交換会は、昨年に引き続き3回目の開催。午前はフレッシュユミズ、午後は女性部と分かれて行われ、両組織の執行部11人とJ A常勤役員・参事が出席しました。

意見交換会は、各組織役員の自己紹介に続き、西川組合長など常勤役員も自己紹介して始まりました。女性部の斉藤部長は、意見交換会の趣旨に賛同し出席した常勤役員にお礼を述べた後、部員減少の歯止め策な



▲フレミズ役員と常勤役員の意見交換

どの助言を求めました。

西川組合長は「女性部・フレッシュユミズの魅力を各種活動の中で打ち出すこと。その結果『楽しかった』『勉強になった』という声を様々な手段で伝えることが重要」と答えました。また、事務局8支部専任体制やJ Aオリジナル加工品など活発な意見が出され、西川組合長を始めとした常勤役員から説明がありました。意見交換会を終えた女性部役員からは「日常の疑問や不安などを、J Aの考え方を聞くことによって解消できた」と感想を話していました。

甘みたっぷり 玉肥大も上々！！

～北見・くんねっぷ メロン収穫始まる～



▲1つひとつ生育を確認し、くんねっぷメロンを収穫する奥さんのすみ子さん

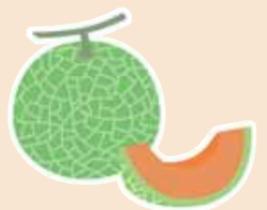
市社会福祉協議会を通じて障害者福祉施設へ寄贈されました。

一方、福田さんは「ルビアレッド」や「キングメルティ」など3品種を栽培。5月に雪が降るなどメロン栽培には厳しい条件でしたが、昼夜の温度管理に苦勞しながらも収穫を迎えることができました。

訓子府の選果場で選果を終えたメロン21ケースは、26日に初せりが行



▲威勢よく初せりにかけられる北見メロン



われ、秀品5玉(8+)を(株)道東フルーツが5万円の最高値で競り落としていました。

なお、北見メロンは8+入り化粧箱で7500ケース、くんねっぷメロンは2万ケースの出荷を予定しています。

JAからの お知らせ

INFORMATION

きたみらい産の元気な野菜！

～コープさっぽろ三輪店 JA野菜コーナーオープン～

北見市のコープさっぽろ三輪店では6月21日から、店内にJAきたみらいの「野菜コーナー」がオープンし、毎日多くの来店客でにぎわっています。

JA野菜コーナーは「新鮮な地場産野菜を地元の消費者に届けよう」と毎年設けられているものです。

今年も9月末まで営業する予定で、店内入口付近に設置してある「きたみらい産の元気な野菜！」と書いたのぼりがコーナーの目印となっています。

コーナー設置の初日にはトマト、レタス、ホーレンソウ、キャベツ、



イチゴなど8品目が並び、黄色の法被姿のJA職員が来店客にPRし「もぎたてのトマトは美味しいですよ」とJAの加工食品のパンプレットを配りながら、大きな声でアピールしていました。



▲地元野菜を買い求める来店者

価格は手頃な価格に設定しており、この日来店した東相内の渡辺登美子さんは「産地表示を見ながら買っています。地元野菜は顔が見えて安心」と話し、大玉トマト5個を買い求めていました。

自慢の娘の競技会

～乳牛共進会開催のお知らせ～

JAきたみらい区域の酪農家の結束力を高め、乳用牛の資質向上などを目的とした「第9回JAきたみらい乳牛共進会」が7月21日、訓子府町の北見管内畜産総合施設を会場に開催されます。

ご家族お揃いで来場されますようお願いいたします。



▲昨年の乳牛共進会

- 開催日時 7月21日(土) 午前9時30分より
- 開催場所 北見管内畜産総合施設(訓子府町実郷)
- 主催 さたみらい農業協同組合 さたみらい酪農振興協議会
- 協賛 北見市・訓子府町・置戸町 後援 ホクレン北見支所・株式会社 後援 株式会社 成田 純哉 氏(共進会認定審査員) アトラクション
- シヨウマンシヨウ 小学生の部、中学生・高校生・実習生の部
- 各部順位予想コンテスト
- 最高位予想コンテスト
- その他 ○牛乳の無料配付(先着200名)
- きたみらい牛乳及び地元産アイススクリームの販売
- お楽しみ抽選会を昼食時に行います

土壌と肥料の

理解を深める

～畑楽クラブ勉強会を開催～

若い女性農業者を対象とした勉強グループ「畑楽クラブ」では6月21日、北見市北上のJAきたみらい農業技術センターで勉強会が開かれ13名が参加しました。

「農業を基礎から勉強したい」という若い女性農業者の声を受けて、JAと網走農業改良普及センターの協力で平成22年7月に立ち上げた同クラブは農業経験ゼロから10年程度の女性26名を対象にして農業講座を開催しています。



▲肥料袋の見方について説明する荒木普及指導員

講座内容については網走農業改良普及センターやJAの職員を講師に招き、作物ごとの育成過程や各種の作業内容、病気・害虫・雑草等の基礎を学んでいます。

今回の講座は「土壌と肥料について」学び、窒素・燐酸・カリの三大要素や、肥料袋の見方などを学びました。

受講者からはなぜ作物により肥料を替えるのか、葉面散布との違いなど質問を投げかけていました。

この講座はあと2回を残すのみとなり12月には全行程を終了し「卒業」となります。



▲土層の違いを勉強する会員のみなさん

INFORMATION

第5回 理事会報告

6月25日、午前9時より第5回定例理事会が開催され、報告事項15件、議決事項11件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①固定資産（山林管理含む）及び共計品ダンボール実地棚卸監査報告について
- ②無通告内部監査（現金取扱全部門）報告について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤CSRレポート2012の発行について
- ⑥JAバンク基本方針に基づく経営状況（モニタリング）の報告について
- ⑦平成25年度産麦類の作付指標面積設定について
- ⑧作況調査（6月15日）報告について
- ⑨畑作青果政策・価格対策に係る組織討議について
- ⑩酪農畜産対策・価格対策に係る組織討議について
- ⑪第9回きたみらい乳牛共進会の開催について
- ⑫北見地区中古農機・自動車展示即売会の開催実績について
- ⑬総代の決定について
- ⑭第26回JA全国大会に係る組織討議について
- ⑮道連の決算及び剰余金処分について

【議決事項】

- ①出資増減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得及び処分について
- ③諸規程の改定について
- ④JA信用事業方法書の変更について
- ⑤当組合との利益相反取引に係る取引について
- ⑥農家経済再建指導対策ガイドライン(案)について
- ⑦農家体質強化基盤整備促進事業に係る施工管理業者の選定について
- ⑧平成24年度産生乳生産の取り進めについて
- ⑨玉ねぎ全道共計個別配分に関する対応について
- ⑩平成24年度産農産・青果物取扱要領の設定について
- ⑪平成24年度夏期地区別懇談会提出資料について

2012 農業機械や自動車がずらり ～北見管内中古農機・自動車展示即売会終える～

中古の農業機械や自動車を集めた「北見管内中古農機・自動車展示即売会」が6月13日から14日の2日間、訓子府の畜産総合施設で開催されました。同展示即売会はオホーツク管内の14JAとホクレン、ホクレン油機サービスが主催で例年開催され、今年で30回目となります。

播種作業も一段落した時期でもあり、農業関係者約9000人が会場を訪れていました。この日、畑作・酪農関係の中古農機737台・自動車244台の他、部品・工具などが並び、希望者が多い人気機械は抽選が

行なわれるたび大きな歓声が上がっていました。ホクレン北見支所の農業機械課、燃料自動車課によると、春作業の遅れや、アルファ常設展示場の定着もあり、今年の来場者は昨年より約1000人ほど減少、成約実績も約1千万円減の1億4千万円程となっています。



▲購入希望者多数による抽選会



▲大勢の来場者で賑わう会場

訂正とお詫び

先月号の「おひさまサラダ」及び「地区別懇談会資料」で、次の通り誤りがありましたので、訂正のうえ深くお詫び申し上げます。

■訂正箇所■
○7ページ……きたみらいのニューフェイスで北見地区上仁頃の岡崎真土さんのお父さんを岡崎好照さん⇒岡崎好昭に訂正
○地区別懇談会資料22ページ…きたみらい酪農青年部の理事佐藤猛(温)⇒(置)に訂正



▲式辞を述べる吉田会長

講習会の終了後、同会の設立50周年記念式典を開催。吉田信夫会長より、同会の発足から現在に至るまでの、先人達へのたゆまぬ努力をねぎらい謝意が述べられました。特に国の稲転政策により、発足時6畝から現在の415畝までに拡大した中で、変化し続ける農業政策への対応や、輸入玉葱との戦い、消費者に対する品質向上など、数多くの課題に取り組み、産地としての責任を果たすべく活動してきた経過



▲設立50周年記念のしおりと講習会資料

上常呂玉葱振興会（吉田信夫会長）は6月12日、温根湯ホテルで設立50周年記念式典を開催し、来賓及び会員を含め67名が参加しました。

一環として網走農業改良普及センターの植松調整係長を講師に、玉葱の黒しみ症状（俗称パンダ）の発生要因の解明について講習会を開催しました。

報告しました。また式典では直近10年の歴代会長2名に対して感謝状を授与、祝辞では吉田地区運営委員長や選果場を委託している北見通運株の武山専務より同会の今後の発展に期待する言葉を頂きました。

祝賀会では、半世紀に及ぶ活動を振り返り、過去の苦労話や、同会の新たな活動に話が弾んでいました。

上常呂玉葱振興会設立50周年記念式典開催

玉葱振興に半世紀 新たな未来への節目祝う

北見農業試験場 公開デー 2012

～研究内容とほ場を紹介します～
◆日時 8月9日（木）10時00分～14時00分
◆場所 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 北見農業試験場（常呂郡訓子府町字弥生52）【入場無料】
農業試験場はどんなところ？と思っておられる方、ご来場ください。
◎研究成果展示（品種、栽培技術）、観察・相談コーナー（病害虫診断は、現物を密封してご持参ください）、ほ場見学バスツアー、畑で働く農業機械展、試食コーナー（バターロール、ポテトチップほか）、おもしろ体験コーナー（子供向け）、クイズラリー（挑戦した方には、いも・たまねぎのプレゼントがあります）生産者による農産物の販売（ファーマーズマーケット夢ミール）
※芝生で休憩できます。（シートはご持参ください）
◎問い合わせ先 同試験場 ☎0157-47-2146



▲昨年行なわれた観察・相談コーナー



【材料：4人前】
 温かいご飯……………800g
 砂糖……………大さじ3
 A 塩……………小さじ1
 酢……………大さじ5
 うなぎのかば焼き……………300g
 キュウリ……………2本(200g)
 甘酢しょうが……………30g
 シソの葉……………約10枚
 卵……………3個
 サラダ油……………小さじ1
 炒りごま……………大さじ3

うなぎちらしずし

【エネルギー689kcal(1人分)】

【作り方】

- ①Aを合わせる。キュウリは、小口切りにし、塩小さじ1/2(材料外)を振り、しんなりしたら、搾る。シソの葉は千切りにする。
- ②卵は溶きほぐし、砂糖、塩少々(材料外)を入れる。フライパンに油を入れ、薄焼き卵を2~3枚焼く。2cm角に切る。
- ③うなぎは電子レンジで約1分温め、2cm角に切る。
- ④ご飯にAを加えて混ぜ、ずし飯を作る。ごまを加え、キュウリを混ぜて、皿に盛る。
- ⑤シソの葉、②、③、しょうがを彩りよく飾る。

メモ

やはり夏はウナギ。栄養のバランスも良く栄養価の高い食品です。合わせる量や切り方なども適宜好みで調節できるのがちらしずしの良いところ。手近にある素材をうまく取り入れましょう。



【材料：4人前】
 木綿豆腐……………1丁(400g)
 小麦粉……………大さじ2
 サラダ油……………大さじ1
 トマト……………2個(300g)
 オクラ……………10本
 A 削り節……………小1袋(4g)
 しょうゆ……………大さじ3
 練りわさび……………小さじ1/2
 みりん……………小さじ1

豆腐とトマトのサラダ

【エネルギー152kcal(1人分)】

【作り方】

- ①豆腐は8等分に切り、ペーパータオルで包んで少し置き、水気を切る。豆腐の水気を拭き取り、小麦粉を各面にまぶし、フライパンに油を入れて、豆腐の全面を回しながら焼き、取り出す。
- ②オクラは塩少々(材料外)で全体をもみ、熱湯でさっとゆで、斜め半分に切る。トマトは、くし形に切る。
- ③Aを合わせる。
- ④①②を盛り、③を掛ける。

メモ

豆腐に小麦粉を付けて焼くことで、こくが加わりボリューム感のある一品に。豆腐の水切りをしっかりとすることで焼きやすくなります。ドレッシングは市販の好みのものでもOKです。

編集後記

- ・「おひさまサラダ」7月号と、地域住民向けコミュニティ広報紙「ぐりんGreen」21号が同時期の発行となりましたので合わせてお届け致します。
- ・ベテランの堀編集員からバトンタッチを受けて、新たなスタートを切りましたが企画から取材・編集・発行まで、生みの苦しさを痛感しています。至らぬ点もあろうかと思いますが、お気づきの点があれば、クイズ応募用紙のご意見欄などを通じてお寄せ頂ければ幸いです。

読者皆さんのご指導やご協力のもと発行して参りますので、よろしくお願い致します。(スタッフ一同)

JAきたみらい概要

(平成24年6月15日現在)

- ・組合員数(正) 1,824人
- ・組合員数(准) 5,702人
- ・組合員戸数(正) 1,224戸
- ・貯金 99,476百万円
- ・貸出金 20,722百万円
- ・出資金 5,090百万円